

令和2年第2回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

まず、はじめに、「新型コロナウイルス感染症にかかる白井市の対応」について申し上げます。

白井市における新型コロナウイルス感染症につきましては、4月22日を最後に、管轄の印旛保健所から感染者の報告は受けておりません。

議員の皆さまをはじめ市民の皆さまには、緊急事態宣言解除までの間、外出自粛や様々な感染症対策に、ご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

現在、この新型コロナウイルス感染症対策により、市民生活や社会経済は大きな影響を受け、極めて厳しい状況を迎えております。

国の「特別定額給付金」のほか、市としましても、先の臨時議会で議決をいただいた「子育て世帯応援給付金」、「ひとり親家庭等応援給付金」といった、子育て世帯に対する支援と、休業により厳しい経営環境にある事業主の方に向けた「中小企業経営支援金」において、市民の皆さまの生活の一助となるべく支援に取り組んでおります。また、市のまちづくり寄附金におきましては、新型コロナウイルス感染症にかかる寄附を受けることとしましたので、ここでいただいた寄附についても、支援策に充てていきたいと考えております。さらに、現在、市主催の事業の中止による事業予算を、支援に充てるよう、令和2年度予算を精査しているところです。可能な限り、生活に困っている方々に、寄り添った支援がおこなえるよう、

更なる支援策の充実を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症については、有効な治療薬やワクチン等の見通しがつかない中、次の流行が懸念されるところです。

印旛市郡医師会が千葉県の実委託により、印旛保健所管内において、「PCR検査センター」を開設し、5月28日から、運用が開始されました。印旛管内で毎週、水曜日、木曜日、土曜日の午後、ワゴンタイプの車両を使用した「ウォークスルー方式」により検査がおこなわれます。これにより、白井市民の方々もPCR検査が受けやすくなりますので、当市としても要請があれば、積極的に検査に協力していきたいと考えております。引き続き、近隣市町と連携を図りながら、再流行に備え、感染予防、検査体制の充実についても取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症が流行する状況下で、災害が発生した場合、避難所において、市民の皆さまが安心して避難することができるよう、新型コロナウイルス感染症自宅療養者と濃厚接触者専用の避難所を「白井運動公園」に設置することとしました。

さらに、これまで避難所として利用している各センターや小中学校の体育館・武道館においては、体調不良者と体調良好者の方を分室する等、感染症対策を行ってまいります。この避難所における感染症対策の経費につきましては、今議会の補正予算に、関係予算を計上しているところでございます。

新型コロナウイルス感染症においては、これまで多くの事業者からのご厚意により、マスクやマスクカバー、消毒液、除菌水などの寄附をいただいているところです。

これらは市役所関係施設のほか、保育園、幼稚園、市内小中学校や医療、介護施設などに配布したところ、配布先からは、感謝の言葉が多く届いております。

また、市民活動団体からは、学校休業中に登校する1年生から3年生までの希望する児童等に対し、お弁当プロジェクトとして5月13日から29日までの間、9回、のべ471食分のお弁当が無償で配布されました。

たくさんのこのような思いやりにあふれた行動に接し、昨年5月の市長就任時にも申し上げましたが、白井市がもつ地域力の高さを、改めて実感しました。そして、「オール白井」でこの難局に立ち向かう、勇気と決意を強く持ちました。引き続き、職員一丸となって、このコロナ禍を乗り越えていくための対策を進めてまいります。

先の見通しがつかない状況ではありますが、次の感染拡大を見据え、市として万全の対策をとっていくことはもちろんのこと、新型コロナウイルス感染症のみならず、市民の皆さまの安全、そして健康を守るための取り組みを、これからも最優先に取り組んでまいります。そして、災害に強いまちづくりの実現に努めてまいります。

次に、「爆破予告に対する市の対応」について申し上げます。

5月21日、インターネット上に、「5月25日に白井市役所のほか、5施設へ爆弾を仕掛け、爆破する」との爆破予告の書き込みがありました。

市では、この爆破予告に対応するため、緊急の会議を開催し、市ホームページへの掲載、爆破予告施設への周知、施設の点検などをおこないました。また、印西警察署と連携をとりながら、爆破予告

施設などは、翌日２２日の金曜日から、随時、巡回し、警戒にあたったところでございます。爆破予告日の当日は、終日、市役所職員及び印西警察署による警戒態勢を整え、監視体制を強化し、万全の体制を整えました。

幸い、何事ありませんでしたが、市民と職員の安全を守るため、このような悪質な事件には徹底して対応するため、警察には被害届を提出しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

次に、「白井市役所本庁舎、東庁舎のBELCA賞受賞」について申し上げます。

白井市庁舎整備事業にて完成しました白井市役所本庁舎、東庁舎が、公益社団法人ロングライフビル推進協会の主催する第２９回BELCA賞ベストリフォーム部門を受賞しました。

BELCA賞とは、建物のロングライフ化に寄与することを目的に既存建物に対して、優れた改修を実施し、飛躍的な価値向上等をさせるリフォームがなされた、模範的な建築物に対し表彰されるものです。

当初、５月に授賞式が開催され、表彰状等を授与される予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、残念ながら、中止となりました。授賞式が中止になったことにより、先日、郵送によって表彰状と楯が届きましたのでご報告をいたします。

また、この表彰状と楯につきましては、市民の皆様にご覧いただけるよう、今後、市役所本庁舎の玄関に展示させていただきます。

最後に、「第5次総合計画 後期基本計画の策定」について申し上げます。

令和3年度から5年間を計画期間とする、第5次総合計画後期基本計画の策定に向けて、これまで住民意識調査をはじめとする各種アンケート調査を実施するとともに、ワークショップ形式のタウンミーティングや市民意見交換会を開催し、市民の皆様の今後のまちづくりに対する意向等を把握してきました。

さらに、学識経験者や市民等で構成される白井市総合計画審議会において、今後のまちづくりの方向性について議論を重ね、後期基本計画の素案の策定を進めてきたところです。

この後期基本計画の素案について、市民の皆様から広く意見をお聞きするため、7月1日からパブリックコメントを実施しますので、ご報告いたします。

市長に就任し、早くも1年が経過しました。

市長として新たな2年目を迎えたところですが、新型コロナウイルスの影響により、あらゆるところに大きな変化の波が押し寄せています。時代に即した市政運営を進め、常にリスク管理に努め、

「第5次総合計画」に掲げる「ときめきと みどりあふれる 快活都市」の実現を目指し、全力を尽くしてまいりますので、議員の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上で諸般の報告を終わります。